



MYOKO 活動プログラム 体験会

「妙高青少年自然の家の利用を予定している」「利用を考えている」「自然体験活動に興味がある」みなさん！「妙高の自然に親しむ会」の家族会員のみなさんが気軽に妙高の活動プログラムを体験していただけるように年4回ほど実施しています。

MYOKO活動プログラム体験会とは...

1日または、1泊2日の中に妙高の活動プログラムが時間によって組み込まれています。

- 例 13:00～ 野外炊事
18:30～ キャンプファイヤー
19:30～ 星座観察・ナイトハイク

特典 参加のみなさんからは、興味がある活動、やってみたい活動を選んで参加が可能です。すべての活動はもちろん、1つの活動プログラムだけの参加もOKです。日帰り、宿泊も選べます。家族での参加も可能です。
*家族の参加の場合、妙高の自然に親しむ会の会員登録が必要となります。



- 実際のご利用の時に指導する活動プログラムを体験できます！
- 指導者の方に、活動に対する知識や安全管理、準備や後片付けなどを理解していただき、スキルアップをサポートします！
- 指導者の方が見通しをもてるよう、活動に対する疑問を解決します！
- 体験を確実に深める方法や日常生活につなぐ方法を提案します！

利用者の声

お試しプランに参加して

私は、新潟市内で「フリースクールP&T」を運営する理事の一人ですが、子どもたちに「キャンプがしたい」「合宿がしたい」と言われても、私自身がキャンプの経験がないので、どうすることもできないでいました。

そんな時、当校へ「お試しプラン」を含む妙高青少年自然の家の利用案内が送られてきたのです。まずは、自身で体験を...と思い、我が子と友人の子ども4人を連れて、5月のお試しプランに参加しました。

妙高山の美しさ、森の存在感に圧倒されつつも、子どもたちのほしやぐ様子に、私も自然と笑顔になりました。参加したプログラムは細かいところまでしっかりと配慮されていて感心するばかりでした。

新潟に戻り、とにかく良かったと力説し、理事をもう一人巻き込んで再び6月のお試しプランにも参加しました。一人でプログラムを体験し、この感動を当校のメンバーと共有したいと思い、その場で9月に当校の合宿することに決めました。また、その時、お試しプランと一緒に参加していた上越教育大学の学生の皆さんと体験を通して、自然体験活動について語り合う機会があり、そのことが当校の合宿へのボランティア参加に結びつくこととなり、うれしさが倍増しました。

私たちはここでサポートを
皆様をサポートを
すること！



野外炊事 (びっくりランチ)

野外炊事は、決められたメニューをグループで協力し、役割を分担しながら調理していく活動です。妙高には、カレーライスを始めとした17種類のメニューがあります。

また、びっくりランチやエコ野外炊事などの課題解決型野外炊事も体験できます。



秘密基地づくり

秘密基地づくりは、協力し合って作業する喜び、完成時の達成感、冒険心など子どもにとって魅力ある活動です。

実際には、完成に5～6時間を要しますが、ここでは、ロープワークの講習を含め、小屋づくりの一部を体験していただきます。



妙高アドベンチャー プログラム

妙高アドベンチャープログラムは、心の教育プログラムです。

実際には、安全性や効果に照らして講習会を受講された指導者でないと指導はできません。

ここでは、子どもたちが自信、優しさ、強さなどを高めてもらえるようなアクティビティを体験していただき、妙高アドベンチャープログラムのよさに触れ、子どもたちの指導の手助けとなるきっかけをつかんでいただきます。

キャンプファイヤー

キャンプファイヤーは、仲間同士の親睦を図る、キャンプへの動機付けとするなど指導者の「おもしろい」や参加者の「ねがい」から作り上げていきます。

ここでは、薪の組み方や後片付けの仕方、迎え火・送り火のつどいの紹介、交歓のつどいでのレクの一部を体験していただきます。

みなさんからは
お試しプランと呼ばれ
親しまれています！

他にも...

星座観察やナイトハイキング、各種クラフト、源流探検などを体験できます！

妙高の活動プログラムは、HPからもご覧いただけます。<http://myoko.niye.go.jp/>

*源流探検、スノーシューハイキングは、vol.4でも紹介しています。

冬季のプログラム

冬季の活動プログラムも体験していただけます。かまくら・雪灯ろうづくりやスノーシューハイキングなど、雪の活動での楽しみ方や留意点などを皆さんにお伝えしながら、雪の妙高で、思う存分、雪に親しんでもらいます。



9月の合宿を1泊2日で実施することに決めましたが、私自身、プログラムづくりは全くわからない状況でした。自分たちの体験を頼りに、妙高青少年自然の家の職員の方と打合せをしながら、一つ一つ考えていきました。よく「体験した者しかわからない」と言われますが、本当にその通りだと実感しました。幸い、私たちには、すべての活動プログラムにおいて、経験豊富な上越教育大学の学生の皆さんたちがボランティアとして関わっていただけるということで、思い描いた通りの2日間のプログラムを作ることができました。

合宿へ向けての準備を進めるうちに、全国各地で開催されるリースクールフェスティバルの時期と重なることから、フェスティバルの一環として開催していく方向となり、新潟内のリースクール3校「葵学園」「I・CAN」「P&T」の合同で、無事、実施することができました。

妙高青少年自然の家のおかげで、自分たちの思い描いていた以上のプログラムが実施できたと思います。子どもたちは、五感をフル活動させて自然を感じ、他者との共存を経験し成長するいいきっかけになったと思います。感謝でいっぱいです。ありがとうございました。